

「公共APIゲートウェイに係るアプリケーション開発、運用設計及びテスト支援（令和6年度）」への質問に対する回答

連番	区分	資料	項番	質問・意見	回答
1	質問	全般	-	システムのアーキテクチャはどのようなものか。 また、インフラやミドルウェアの構成や設定はどの様なものか。 受託事業者がアプリケーションを実装するレイヤより下層の情報を提示いただきたい。	アーキテクチャの基本方針は要件定義書「表18-7 システム方式についての全体方針」に示すとおりです。設計内容については事前にお見せすることが難しいため、受託者決定後にご説明予定です。
2	質問	全般	-	本案件のアプリケーション開発やテスト等を行うに当たり必要となるクラウド環境は事業者側での用意が必要か。 事業者側での用意が必要な場合、見積書に含めればよいか。	アプリケーション開発やテスト等はガバメントクラウド環境で実施する予定のため、当方で準備する予定です。
3	質問	全般	-	開発言語およびフレームワークについて、開発言語はJava、フレームワークはSpring Boot、AWSのRDBMS PaaS（PostgreSQL想定）の利用を想定されていると理解しておりましたが、変更や利用製品が決定されたなど、追加でご教示いただけることはありますでしょうか。	利用製品についてはSpring Boot、RDMS PaaS(PostgreSQL)で決定しています。 画面のテンプレートエンジンとしてはPebble + CoreUIを利用します。
4	質問	全般	-	設計・開発における受託者側の規模感や関与期間、役割や想定している担当機能についてご教授ください。	設計・開発における受託者様側の規模感・関与期間・役割としては以下を想定しております。 【想定人数・期間】 開発リソースとしては2名×契約期間(約10ヶ月) 程度を想定 【役割】 フロントエンドサービス向け管理系機能、バックエンドサービス管理系機能のいずれかを担当 【期待するスキルセット】 Webアプリケーション（WebAPI含む）の設計・開発スキル DB設計からフロント（画面）までの設計を一気通貫してできる
5	質問	調達仕様書	1.4. 業務・情報システムの概要	「表1 業務範囲」の「テスト」-「第三者検証」について、 ○となっておりますが、業務範囲に含まれる認識で良いでしょうか。 「表2 テスト実施イメージ」のテスト工程に、第三者検証の記載がないため、確認となります。	「第三者検証」については、当庁としては必要性があれば実施したいと考えております。要否および実施方法も含めてご提案頂けますでしょうか。
6	質問	調達仕様書	1.4. 業務・情報システムの概要 図1 公共APIゲートウェイの概要図	外部システムとの接続確認テストはテスト環境を実際に構築して行う想定ですが、実際にはどのような実施方法を想定していますでしょうか。	外部システムとの接続確認テストは接続検証用のテスト環境を構築して実施する予定です。
7	質問	調達仕様書	1.4. 業務・情報システムの概要 表1 業務範囲	貴庁の本案件担当の体制はどの様なものか。 具体的には、「4.1. 作業実施体制、表3の項番2～9」の事業者側の担当者は貴庁担当者との様な連携を行うことになるか。 例えば、項番2～9の役割ごとに貴庁担当者がある、等。	「4.1. 作業実施体制、表3の項番2～9」の役割毎に弊庁側の担当者を割り当てます。事業者側の担当者は弊庁側の担当者と作業計画を摺り合わせた上で、業務を実施して頂くことを想定しています。

「公共APIゲートウェイに係るアプリケーション開発、運用設計及びテスト支援（令和6年度）」への質問に対する回答

連番	区分	資料	項番	質問・意見	回答
8	質問	調達仕様書	1.4. 業務・情報システムの概要表 1 業務範囲	各工程の作業業務範囲の具体的な貴庁との分担について確認したい。 それぞれの工程で受託事業者の列に「○」「○（一部）」「◎（推進）」「○（支援）」と記載があるが、それらの意味するところとして具体的に貴庁担当者との役割分担や責任範囲等がどのようになるか。 また、同じ記載でも、工程によって意図するところが違う場合、それぞれについて伺いたい。	以下のような分担を想定しております。 ◎（推進）・・・作業計画を立案し、計画通りに作業が遂行されるよう推進・管理を行う。 ○（支援）、○（一部）・・・作業計画に基づき、分担された作業を実施する。 推進側には、作業計画の立案と管理を含む点がポイントとなります。
9	質問	調達仕様書	1.4. 業務・情報システムの概要表 1 業務範囲	セキュリティテストについて、脆弱性診断サービス等を用いたテストは受託者側が主体で進め、進捗や結果を報告する形式で問題ないか。	ご提案の形式の想定で問題ございません。
10	質問	調達仕様書	1.4. 業務・情報システムの概要表 1 業務範囲	関連外部システムのテスト環境・データ準備等の調整も受託事業者の推進業務に含まれますでしょうか。	関連外部システムのテスト環境・データ準備等の調整はデジタル庁主体で実施しますが、関連作業の支援は依頼する可能性があります。
11	質問	調達仕様書	1.4. 業務・情報システムの概要表 1 業務範囲	総合テスト（非機能テスト）のセキュリティに関して、受託事業者はどのような支援を貴庁担当者に行うことを求められているか。	セキュリティ診断の実施は外部委託の検討も含め、弊庁主体で実施することを想定しております。受託事業者様には、診断にて検出された脆弱性に対する対策やテスト支援を実施して頂くことを想定しております。
12	質問	調達仕様書	1.4. 業務・情報システムの概要表 1 業務範囲	システム運用設計には、「ログ管理」「自動実行・管理」「監視・通知」「バックアップ・リストア」など、インフラ設計に近いものもあると思います。 受託側の業務範囲としては基本的な運用設計まで（どのような方式にするか、どのようなソフトウェア・サービスを組み合わせるか、どのようなログ・メッセージを監視するかなど）で、詳細な設計と設定（特定のソフトウェア・サービスを前提とした設計、対象とする具体的なログ・メッセージの設計など）は貴庁のインフラご担当者という分担でよいでしょうか？	ご提示頂いた想定で問題ございません。 インフラの詳細な設定と設計はデジタル庁側で実施予定ですが、より適切な分担方法がございましたらご提案をお願いします。
13	質問	調達仕様書	1.6. 作業スケジュール	「本番切替/リハ」について、本調達の範囲外の認識であっているか。	ご認識のとおりです。
14	質問	調達仕様書	1.6. 作業スケジュール	「システムテスト仕様作成」開始時点（令和6年度8月）にはフロントエンドサービスとバックエンドサービスのAPI仕様が決定されている前提でよいでしょうか？	API仕様の決定は前後する可能性がございますが、フロントエンドサービスとバックエンドサービスについてはAPIGWとしては設定内容の確認がメインとなることから、API個別仕様の決定の有無は影響は少ないと考えております。
15	質問	調達仕様書	1.6. 作業スケジュール	「他システム連携テスト」開始時点（令和6年度10月）にはフロントエンドサービスとバックエンドサービスが接続可能になっている前提でよいでしょうか？	接続可能となっている前提で、問題ございません。フロントエンドサービスについては、今年度はダミーシステムを用いてテストする想定です。バックエンドサービスについては、連携想定システムがありますが、こちらも必要に応じてダミーシステムでのテストを実施する予定です。
16	質問	調達仕様書	1.6. 作業スケジュール	「1.6作業スケジュール」記載のスケジュールに関して各工程の終了、開始タイミングは変更の提案、相談は可能でしょうか。 ※マイルストーンは必ずさない前提。	各工程のタイミングの終了・開始タイミングは変更可能です。必要に応じてご提案頂ければと思います。

「公共APIゲートウェイに係るアプリケーション開発、運用設計及びテスト支援（令和6年度）」への質問に対する回答

連番	区分	資料	項番	質問・意見	回答
17	質問	調達仕様書	3.1. アプリケーション開発業務	<p>調達仕様書には「一部機能の設計・開発業務」とあり、「一部」の範囲とは要件定義書に記載の全量と記載より認識した。</p> <p>一方、表 1 等の記載より、貴庁が内製するアプリケーションの設計～結合テストがあると考えている。</p> <p>貴庁で内製されるアプリケーションについて下記の情報をいただきたい。</p> <p>①対象機能についての「別紙1_公共APIゲートウェイ要件定義書.docx」相当の情報</p> <p>②本調達範囲の「一部機能」とのインターフェースや機能連携など、関連性についての情報</p>	<p>アプリケーション開発業務において、「一部」支援を求める、対象機能については現在検討中です。</p> <p>支援を依頼する対象機能については、受託後に説明させて頂く予定です。</p>
18	質問	調達仕様書	3.3. テスト業務 (1) テスト計画の立案	<p>「設計・開発事業者」とはどのようなステークホルダー、もしくは役割を担うものか。詳細を伺いたい。</p> <p>また、受託事業者とどのような連携を行うかを伺いたい。</p>	<p>申し訳ありません。設計・開発事業者との連携は検討していただく問題ありません。設計開発に関してはデジタル庁が主体となって行います。デジタル庁のPMおよびエンジニアと連携していただいて業務を遂行していただけます。</p>
19	質問	調達仕様書	3.3. テスト業務 (5) テスト結果報告	<p>・テスト実施方針について、毎月提案を実施すること。</p> <p>とありますが、どのような内容を想定されていますでしょうか。</p> <p>※進捗状況の報告などを想定されていますでしょうか。</p>	<p>進捗及び品質状況の報告と、進捗と計画に乖離が発生した場合の対応策の検討等を想定しております。</p>
20	質問	調達仕様書	3.7. 成果物について (1) 成果物一覧 表 2 成果物一覧	<p>項番 3,4,7,8の納入期限（想定）が「システム運用・保守設計開始前まで」「業務運用設計開始前まで」となっています。これは契約期間開始とほぼ同時ですが、これらは貴庁から提供いただける成果物という認識でよいでしょうか？</p>	<p>契約期間開始後に、4,8を最初に整理頂き、3,9の作業計画に落として頂いた後、設計作業に入って頂く流れを想定しております。</p> <p>4,8を整理するインプットは弊庁から実施させていただきます。</p>
21	質問	調達仕様書	4.3 作業場所 (1) 業務の実施場所 (2) 諸設備、物品等資源 5. 作業の実施にあたっての遵守事項	<p>テストの実施場所については述べられているが、アプリケーション開発業務を行う実施場所も事業者オフィス内に限定されるのか。情報の取り扱いに十分に留意したうえで、リモートワークなど事業者オフィス内以外での実施も可能か。</p> <p>または、作業場所から持ち出し禁止との記載のとおり事業者オフィス内に留まるとの理解が正しいか。</p>	<p>本業務においては作業場所をオフィスに限定するものではありません。日本国内においてセキュリティを担保できれば在宅でも問題ないです。パブリックなスペース（カフェやだれでも入れるオープンな共有スペース）は許容できません。</p>
22	質問	調達仕様書	4.3. 作業場所 (2) 諸設備、物品等資源	<p>専有端末等の調達について、見積書に含めればよいか。</p>	<p>貴社の責にてご用意ください。見積に関して含める、含めない、またどの項目に含めるかは御社でご判断いただければと思います。</p>
23	質問	調達仕様書	4.3. 作業場所 (2) 諸設備、物品等資源 4.4. 作業の管理に関する事項	<p>4.3では、テスト作業場所について、事業者オフィスに限定するなどの記載がある。一方、4.4では感染症流行等への対応がある。</p> <p>作業場所について、ISMS等に適合しているうえで、在宅勤務等の作業場所を問わないとの理解で良いか。</p>	<p>本業務においては作業場所をオフィスに限定するものではありません。日本国内においてセキュリティを担保できれば在宅でも問題ないです。パブリックなスペース（カフェやだれでも入れるオープンな共有スペース）は許容できません。</p>
24	質問	調達仕様書	4.4. 作業の管理に関する事項	<p>課題・不具合管理ツールに関し、利用可能なグループウェアはJIRAとある。</p> <p>こちらの活用を前提とした場合、JIRAにおけるインシデントフロー、およびチケット項目のカスタマイズが発生すると考えるが、そのようなリクエストは可能か。</p>	<p>無償の範囲内でのカスタマイズは当庁との協議の上、可能です。</p>

「公共APIゲートウェイに係るアプリケーション開発、運用設計及びテスト支援（令和6年度）」への質問に対する回答

連番	区分	資料	項番	質問・意見	回答
25	質問	調達仕様書 請負契約書（総価契約）案	6.成果物に関する事項	調達仕様書には「成果完成型準委任契約」記載がありますが、契約書案は請負を想定されたものになっているかと存じます。 成果完成型準委任契約という認識で問題ないでしょうか。	成果完成型準委任契約の認識で問題ございません。
26	質問	調達仕様書 請負契約書（総価契約）案	6.成果物に関する事項	分割検収、分割支払いをお願いすることは叶いますでしょうか。 成果完成型準委任契約の場合、成果物単位で分割検収をしていただく想定です。	支払およびこれに伴う検収につきましては、契約時点及び検査確認時点を想定したデジタル庁と受託事業者様において協議（責任分界点）して決める事項であります。なお、デジタル庁としてはデジタルスタートアップ、中小企業等事業者において分割検収・支払も可能です。
27	質問	調達仕様書 公共APIゲートウェイ要件定義書.docx	7.2. 受注実績（1） 3.1. ユーザビリティ及びアクセシビリティに関する事項 (2) ユーザビリティ要件	「調達仕様書_.docx」にあるネイティブアプリについて、「別紙1_公共APIゲートウェイ要件定義書.docx」の記載を読むと、アプリケーションを端末にインストールするネイティブアプリではなく、レスポンシブデザインとしてWebアプリを作るように読める。 本案件について次の3点について確認したい。 ①本案件でネイティブアプリ（iOSやAndroidのスマートフォン等の上にインストールするアプリ）を開発するか。 ②本案件の提案としてネイティブアプリの開発やそのテスト、及びテスト支援の実績や経験は必要か。 ③本案件を遂行するにあたり、従事する要員の知識や技術としてネイティブアプリの開発やテスト、及びテスト支援に関するものは必要か。	不明確な表現で申し訳ありません。ネイティブアプリはクラアイアンではなくバックエンドサービス全般と捉えていただければと思います。なお、バックエンドサービスへのシステム設定はWebアプリケーションで行います。 iOSおよびAndroidのネイティブアプリは本調達の対象外です。そのためこれらの開発、テストはありません。
28	質問	別紙1_公共APIゲートウェイ要件定義書	3.2. システム方式に関する事項	CI/CDツールまたはサービスは何を利用する予定でしょうか？	AWSサービス(AWS Codeシリーズ)やGitHubアクションを基本とする予定です。
29	質問	別紙1_公共APIゲートウェイ要件定義書	3.11. 情報システム稼働環境に関する事項 (3) ソフトウェア構成	ソフトウェアに「Tyk GW」を指定されていますが、「3.4. 性能に関する事項」に記載されている性能要件、性能指標の可視化などが実現できる前提で選定されている認識でよいでしょうか？	ご認識のとおりです。
30	質問	別紙1_公共APIゲートウェイ要件定義書	3.11. 情報システム稼働環境に関する事項 (5) 利用端末の要件	動作保証端末としてWindows PCとある。一方、動作保証端末以外にMac OS PCやスマートフォン、タブレット端末の記載もある。 本案件において、それぞれの端末に対するアプリケーション開発やテストの扱いはどの様に考えればよいか。 例えば、アプリケーション開発はすべて端末に対して考慮するが、テストとしての検証はWindows PCだけ保証されれば良い、など。	基本的にWindows PCだけ保証されれば問題ありません。不要な内容が残っており申し訳ありませんでした。
31	質問	別紙1_公共APIゲートウェイ要件定義書	3.12.テストに関する事項 (3)総合テスト 表33 総合テストの主なテスト観点	セキュリティテストについて、受託者側の脆弱性診断サービスはWeb特有の攻撃への脆弱性を確認するものであり、データの持ち出しに対する対策やマルウェア対策などは含まれておらず、受託業務の対象外との理解でよいか。	データの持ち出しやマルウェアに対する対策はインフラ構築作業の中で確認を行う想定であるため、本業務の対象外の理解で問題ございません。
32	質問	別紙1_公共APIゲートウェイ要件定義書	3.16. 運用に関する事項	構成管理ツールまたはサービスは何を利用する予定でしょうか？	GitHubやSharePointを利用する予定です。

「公共APIゲートウェイに係るアプリケーション開発、運用設計及びテスト支援（令和6年度）」への質問に対する回答

連番	区分	資料	項番	質問・意見	回答
33	質問	別紙1_公共APIゲートウェイ要件定義書	3.16.運用に関する事項	監視業務について下記ツール利用を考えておりますが、既に導入されているツールがあれば教えてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク監視 ・不正アクセス監視 ・サーバー死活監視 ・サーバーリソース監視 ・バックアップ 	監視業務について、既に導入を想定しているツールは特にありません。基本的にはクラウドサービス（AWS）の機能を活用して構築する想定です。
34	質問	企画提案書作成要領	3. 提案書の構成及び記載事項 (2) 応札者及び要員の保有資格、実績等の提示	応札者の実績の証明書類としては、落札公示結果や契約書等の写し等を提示すること の部分の確認 ※公共系以外の民間の実績の場合	左記のとおり、実績の証明書類を提示ください。 仕様書に記載の実績を有することを確認することが目的のため、不要な個所は適宜マスキング等ご対応ください。もし、上記の方法でもご対応が難しい場合は再度お問い合わせください。
35	質問	企画提案要領	8. 提出書類の期限等 (2) 提出場所	「提出先は、14(1)アとする。」と記載されているが、「13(1)ア」が正しいか	ご認識のとおりです。